

主眼

修学旅行の班別行動を計画する活動を通して、奈良・京都の歴史的景観の良さに気づく。また、景観が良い理由やもたらす影響について経済・生活・条例などの様々な観点から多面的・多角的に考察する。

めあて

景観は守った方がいいの？

まとめ

歴史的景観を保全する事で経済効果が期待できるが、実際に生活している人は生活のしづらさを感じるなどメリット・デメリットの両面がある。

準備

学習プリント、タブレット、模造紙、付箋（大）、マジック

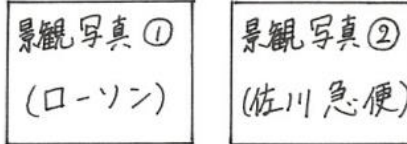
主体的・対話的で深い学びの工夫

- 賛成・反対の立場それぞれの意見や理由を図に表すことで文章に表すのが苦手な生徒も積極的に思考できるようにする。
- 賛成・反対のどちらかに決定せずに割合で示すことでまわりの生徒の意見を聞いて、気持ちの変化が分かるようにする。
- 他の生徒の意見から多様な立場の人々が関わっていることが分かるように工夫する。

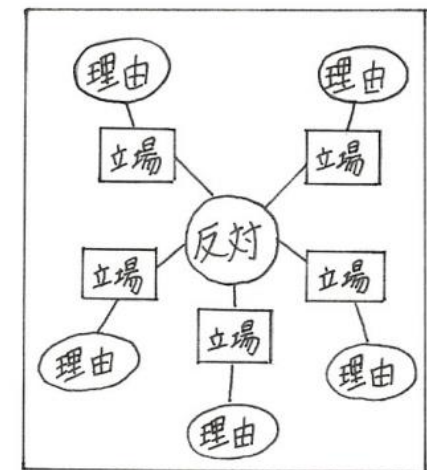
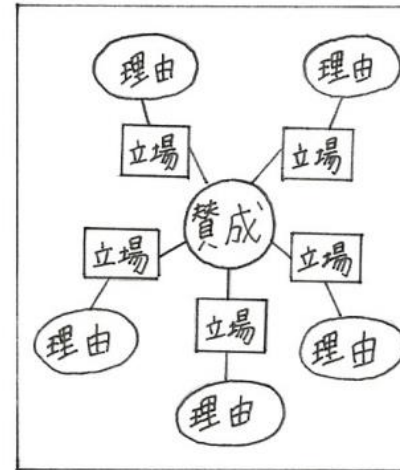
板書

めあて 景観は守った方がいいの？

〈両方の意見を考えよう!〉



Q.工夫する理由は？



本時の流れ

主な学習活動  
【評価（評価方法）】

①前時の班別行動を確認する。(5分)

- ・古都奈良・京都とはどのようなところかイメージする。
- ・めあてを確認する。

②奈良・京都の景観の特徴について考える。(15分)

- ・新旧の景観の変化、建物の外観の違いに気づく。

③グループ活動。(20分)

- ・条例によって景観が守られていることに気付く。
- ・京都市は条例によって規制があることを学ぶ。
- ・立場を明確にして考察する。

④各自でまとめと振り返りを書く。(5分)

- ・授業の内容をふまえて、景観保全について自分の考えをまとめる。
- ・他の生徒のまとめを聞いて自分のまとめを向上させる。

主な発問

○なぜ、京都はこのような（派手でなく、色味が少ない）見た目ののか？

○資料A・B・Cとの関連づけについて考えさせる。

○景観を守るために条例を作っているけれど、賛成と反対それぞれの視点で考えてみよう。

○授業の内容を踏まえて、景観を守ることに賛成か反対か理由も含めてまとめてみましょう。